

日本YWCAの使命(ミッション)
イエス・キリストに学び、共に生きる世界を実現する
世界の人々と共に人権・平和・環境の問題に取り組む

第29総会期主題
平和を実現する人々は幸いである一マタイによる福音書5章9節

日本YWCAビジョン2015
(1) 非核・非暴力による平和を構築する
・平和憲法をまもり、世界に広める
・市民レベルで東北アジアの信頼関係を築く
・女性と子どもの権利をまもる
・パレスチナYWCAの活動を支援する
(2) 若い女性のリーダーシップを養成する

YWCA 4

APR. 2008

発行所 日本キリスト教女子青年会
〒102-0074
東京都千代田区九段南4-8-8
Tel. 03-3264-0661
E-mail. office-japan@ywca.or.jp
編集発行人 石井摩耶子
振替 00170-7-23723 (毎月1日発行)
定価1部 150円
年間購読料2,200円 (送料込)
www.ywca.or.jp



4月24日は世界YWCA日です



若い女性のためのリーダーシップフォーラム (07年7月ケニアにて)

1855年にイギリスに誕生したYWCAは、以来150年以上にわたり、女性と少女がリーダーシップを発揮してより良い社会へと変革するために活動してきました。今では125の国・地域で2500万人の女性たちが、YWCAネットワークに参加し、他の国際機関とも協力し、平和・人権・健康・環境などの領域でリーダーシップを発揮しています。

今年の世界YWCA日のテーマは「語る女性に耳を傾けようー変革を導く女性たち」です。

世界YWCAは、2007年7月にケニアのナイロビで世界総会と並行して、「国際女性サミット」(International Women's Summit)を開催しました。HIVやAIDSの問題における女性のリーダーシップをエンパワーし、ビジョンの確立に貢献することを目的としたIWSは、地球規模でAIDSの蔓延を食い止めるために女性全体の力を結集する弾みとなりました。また世界YWCAは、今年2月25日～3月7日にニューヨークで開催された国連「女性の地位委員会」に代表を派遣し、「世界YWCAは、HIVやAIDSにおける女性の権利と安全・エンパワメントのために用いる資金の増大を求めます」との声明を出し、男女共同参画社会の推進と、女性と少女のエンパワーのために積極的に取り組むことを国連加盟国に要請しました。

ボランティアとは何か? ~新しいコミュニティの創造に向けて~

なぜ今、「ボランティア」なのでしょう。閉塞感が漂う時代、ボランティアに寄せられる期待は年々大きくなっています。しかし福祉・教育・地域社会などさまざまな分野で急激な変化が進む中、もすればボランティアの持つ本来の意味が変質してしまうような不安を覚えます。長い歴史を持つボランティア団体であるYWCAだからこそ、わかつているつもり「ボランティアとは何か」ということを改めて確認する必要があるのではないのでしょうか。

■ボランティアの語源・定義
語源はvoluntas (自由意志)・voluntarius (自願)です。①「自発性」②「無償性」③「無給性」④「創造性」⑤「先駆性」であると考えられています。これら5つを踏まえた上で、時代に応じた活動のありかたを考える必要があります。

■ボランティア活動の4原則
ボランティア活動の基本原則は①自発性・主体性②社会性・連帯性③無償性・無給性④創造性・先駆性であると考えられています。これら5つを踏まえた上で、時代に応じた活動のありかたを考える必要があります。

■ボランティアの歴史
日本でボランティア活動が盛んになったのは、1970年代から80年代です。当時は、主婦層が中心の男性い手でした。続いて90年代以降は活動者の多様化・拡大が進み、若い若者などより幅広い層の参加が見られるようになりました。130万人を超すボランティアが駆けつけた阪神・淡路大震災の起こった1995年は「ボランティア元年」と称され、これは後の「特定非営利活動促進法」(NPO法)成立にもつながりました。多様な分野のネットワークや市民団体と企業・行政との協働が進んだのもこの頃です。

■近年のボランティアをめぐる動き
①1980年代ごろから、市民による自主的な活動の中に「有償で

サービス提供を行うものが生まれてきました。有償活動を認めるか否かという議論は重要な争点の一つです。金銭的な報酬を求めない無償のボランティア活動と有償サービスは、スタイルの違いであり、それを選ぶかは対象となる課題によるとの考え方もあります。②学校現場における奉仕活動の義務化、ボランティアの活動体験の評価・点数化については、自発性との関連はどうなのかとの議論がありました。③これまでボランティアの対象者としてみられてきた障がい者・高齢者の方たちが活動に参加する例も多くなり、当事者の参加が増えています。「する側」「される側」の境界線も薄れてきています。

さて、以上をふまえて、YWCAにおけるボランティアの魅力と意義について考えてみたいと思います。YWCAは、ボランティアの言葉が一般的になるはるか以前から一貫して社会の要請に応えた活動を展開してきました。その中でも先駆的に始められた活動の多くが後に公私の推進機関によって展開されています。まさにボランティアはYWCAの歴史を貫くものといえます。「YWCAというところはやれないうちをやらせるところ」と言うより、やれないうちでやることでもやらせて未知の能力と独創性を引き出し、責任をもたせ、失敗と反省を重ねながら成長させていくところ」と言われた方がありました。YWCAにおけるボランティアの魅力とは、まさに誰かのためにやっていると想っていることが、実は自分の成長・豊かになるためのやっていると想っていることではないでしょうか。そして「お互いさまの関係性・対等性がその長い歴史の中でYWCAの文化として受け継がれているように思うのです。また、YWCAにおけるボランティアの意義を思う時、オーストラリアのYWCAの会員から聞いた「私たちの役割は新しいコミュニティを創ることです」との言葉思い出します。新しいコミュニティの創造は、自分たちで考え、誰もが安心して暮らせる平和な社会を実現することであり、そしてその担い手はボランティアであるということです。YWCAのボランティア活動は、どれをとっても、その目指すところは社会変革であり、そこにつながる誇りをもつ活動を進めることができ、そこに誇りをもつていきたいと思っております。 東京YWCA総幹事 尾崎裕美子

教育の現場で、移行期の若者たちに触れながら思うことを述べてみたい。
私は大学で、地域で働く「保健力」を養成している。若者たちは、短い人殺殺と学習仕立ての知識を持って、真摯に現場実習に臨む。私は、できるだけ彼らが自分の言葉で語る機会を設け、気づきや感動の聞き役になるよう心がけているが、時々自分の偏りがちな姿勢に気づかされる。
養護教諭を目指す学生Nさんは、弱い立場の人にしつかり耳を傾ける人である。私は彼女にひそかな期待をかけ、実習指導を楽しみにしていた。しかし現場で見るNさんは、「自分が解決しなれば」と対象を抱え込んでしまっという傾向があり、現場指導者からも厳しい評価を受けた。私は一瞬自分の見る目のなさを反省した。しかしその後、私は自分の傲慢さに気づかされることになった。
Nさんは、子どものためにすべてを注ぎ込んできた母親と、仕事をせざるに母親にばかり負担をかける父親の元で育った。偉大な母親に近づきたいという思いと、尊敬できない父親の血が流れる劣等感に苦しみ、今やつと過去に縛られずに新しい眼で母親を見直そうと努力している最中だった。
私は、変化の過程にある移行期の若者の一面を見て期待したり失望したりする自分の偏った見方を反省した。YWCAで私の学びは、「力を奪われ、弱き者とされてしまった人たちに力を取り戻させること」で、それは「出会いの機会を提供し、そこでのありのままの変化を一緒に楽しむ」ことであつたはずだ。「そつた忘れていた」実習を終え、ふとそのことを思い出した。 (熊本YWCA会員)

人をかたよって 見ているならぬ
(旧約聖書・申命記1章17節)
久佐賀真理



第2回「原爆遺構巡り」 熊本 YWCA 被爆地長崎を旅して

原爆遺構を訪ねる企画が熊本YWCAにあります。第1回は2004年にアメリカのオハイオ州デイトンを訪ね、長崎に原爆を投下したボックスカーを見ました。2回目の今回は長崎を訪ねました。熊本YWCAに焦点をあてた旅行にしたいと思いましたが、熊本YWCAの熊江会長に相談すると、適任者を知っているから任せなさいと、旅行のプログラムを長崎YWCAで受け持ってくださいました。旅行当日の2月16日は風が冷たく寒かったのですが、充実した学芸館の多い1日となりました。

講演後、平野さんの案内で平和公園や現存する浦上刑務所の壁や記念碑を見学しました。自分たちだけでは見逃してしまつたところも、平野さんが見るポイントを説明して下さったので理解が深まりました。午後には長崎原爆資料館・岡まさはる記念長崎平和資料館を訪ねました。長崎・福岡・熊本YWCAメンバーが集い、熊本YWCAメンバーが集い、熊本YWCA者について一緒に考える良い機会になりました。 熊本YWCA 安川美歩

今回の「沖繩への旅」は1997年に企画して以来の旅になりました。近頃は観光で、驚くほど安く行くことができる「沖繩」ですが、私たちは豊かな自然や世界遺産に触れるだけでなく、「ワイールドに立つ」ことを目的として企画しました。日本YWCAや沖繩から発信される数々の情報を受け取るだけでなく、沖繩にある課題をどうにかに引き寄せられるのか、を考えるきっかけにしたいと考えたからです。

昨年8月には、沖繩YWCAから発信された「支援の呼びかけ」に応じるために、「今、基地建設めぐって沖繩・辺野古で起きていること」と題した緊急学芸会を京都YWCAで開催しました。(ゲスト・大澤澤一 牧師/DVD「海にすわる」沖繩・辺野古反基地600日の闘い)の鑑賞。その後、募金委員会主催のツアーとして企画を始め、「楽しみながら、沖繩を

肌で感じてみよう」と参加を呼びかけました。参加者は20代から70代の15人。沖繩に対する思いはそれぞれでした。南部戦跡を回り、ひめゆり資料館では映像での証言を聞いて、待機しておられた辺野古では、ねいに聞きました。夏芽牧師からお話を聞くことができました。静かな海の砂浜に基地との境界の鉄条網は、時々米軍により撤去され、新しい鉄条網が設置されます。(支援者からのメッセージが結ばれています。)夏芽牧師から「何もできない」といわれることが一番悲しい。呼びかけたり伝えたりできることはいくらでもあるだ

地域YWCA連絡先 (2008.3現在)

地域YWCA	〒	住所	TEL	FAX
釧路		(日本YWCAにお問い合わせ下さい)		
札幌	060-0807	札幌市北区北7条西6丁目 北海道クリスマスセンター内	011-728-8090 兼	
函館	040-0003	函館市松陰町1-12 (日本YWCAにお問い合わせ下さい)	0138-51-5262	0138-54-9548
弘前		(日本YWCAにお問い合わせ下さい)		
仙台	980-0011	仙台市青葉区上杉2-1-10 (日本YWCAにお問い合わせ下さい)	022-222-9714	022-265-9310
福島		(日本YWCAにお問い合わせ下さい)		
浦和	330-0061	さいたま市浦和区常盤5-10-6	048-831-6448 兼	
東京	101-0062	千代田区神田駿河台1-8	03-3293-5421	03-3293-5570
武蔵野センター	180-0006	武蔵野市中町1-19-16	0422-52-3881	0422-53-1436
板橋センター	174-0043	板橋区坂下1-34-25	03-5914-1854	03-5914-1856
国領センター	182-0022	調布市国領7-11-1	0424-83-5151	0424-82-2448
砂土原センター	162-0842	新宿区市ヶ谷砂土原町3-1-1	03-3268-4451	03-3268-4452
横浜	231-0023	横浜市中区山下町225	045-681-2903	045-662-0926
湘南		(日本YWCAにお問い合わせ下さい)		
平塚	254-0811	平塚市八重咲町24-31	0463-21-1990 兼	
甲府		(日本YWCAにお問い合わせ下さい)		
新潟		(日本YWCAにお問い合わせ下さい)		
静岡		(日本YWCAにお問い合わせ下さい)		
浜松		(日本YWCAにお問い合わせ下さい)		
名古屋	460-0004	名古屋市中区新栄町2-3	052-961-7707	052-961-7719
京都	602-8019	京都市上京区室町通水上ル	075-431-0351	075-431-0352
大阪	530-0026	大阪市北区神山町11-12	06-6361-0838	06-6361-2997
大阪YWCA千里	565-0874	吹田市古江台3-9-3	06-6872-0527	06-6872-0503
神戸	651-0093	神戸市中央区二宮町1-12-10	078-231-6201	078-231-6692
広島	730-0051	広島市中区大手町4-3-10	082-241-5313 兼	
呉	737-0028	呉市幸町3-1	0823-21-2414	0823-21-2514
松山	790-0004	松山市大街道3-2-24	089-935-5191 兼	
福岡	810-0073	福岡市中央区舞鶴2-8-15	092-741-9251	092-712-2515
長崎	850-0854	長崎市銀座町1-5 長崎銀屋町教会会欠付	ファックスのみ	095-824-4334
熊本	860-0862	熊本市黒髪2-27-21	096-346-3419 兼	
沖繩		(日本YWCAにお問い合わせ下さい)		

ろつ」と言われたことは、参加者の心に強く響きました。アプチラガマ、轟のガマ、チビチリガマも訪れました。63年の歳月の流れで、地上の姿はすっかり変わっていますが、地下のガマは戦争の実相を残しています。何度訪れても、胸が締め付けられるような「うめき」が聞こえるようです。



「ご協力ありがとうございました」
賛助費(以下敬称略)
三股奈津子 戸田照枝 湯前知子 一般寄付
国際婦人年連絡会和発委員会
日本YMCA同盟 松田和子
クリスマス献金
静岡教会 松戸教会 鎌ヶ谷教会
聖ヶ丘教会(以上、日本キリスト教団)
東川聖学院 女子監禁部
聖真女子学校高等部 中部
鈴木ひろみ 原紀子 石川松子
鈴木みゆみ 加藤直美
林幸子 羽木和子 平塚YWCA
東京YWCA聖書読書会
クニア暴動被害支援
横浜YWCA 梅田誠
奥浜夏子
熊本YWCA 広島YWCA
名古屋YWCA
バンコクYMCA/クロ/被災者支援
横浜YWCA 大阪YWCA
名古屋YWCA 東京YWCA
大井バプテスト教会女性会福祉グループ
パレスチナYWCA支援委員会
湯口恵 呉YWCA
平和教育基金
川端国世 三股まさ子 西子
関田寛雄 甲府YWCA
劣化ウラン被害者救済国際協力基金
横浜YWCA 甲府YWCA
名古屋YWCA 川端国世
東京YWCA 武蔵野センター
22キリスト教会合同プログラム実行委員会
あとかぎ ▼若い日春がくるのは当たり前であり、ものみなが春になると感じられた。今回の座談会に登壇して下さった方々は、どうであらう▼久しく四季をくり返すうちに、年を重ねても心華やぐつましい春を迎えられることを喜びました。(RM)

